


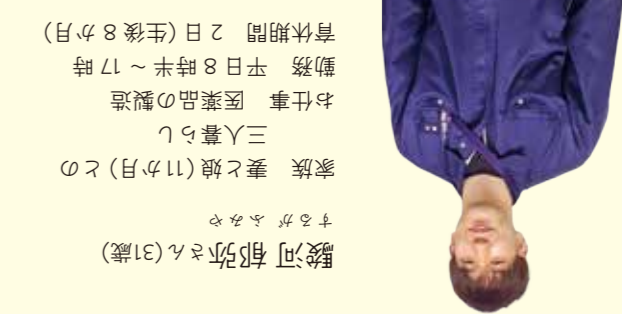
野坂 崇裕さん(29歳)
のさか たかひろ

家族 妻と娘(2か月)とウサギの
三人と一匹暮らし
お仕事 医薬品の分析
勤務 平日 8時半～17時
育児期間 1か月半(新生児期)
※新生児期…生後28日あるいは1か月までの期間



駿河 郁弥さん(31歳)
するが ふみや

家族 妻と娘(11か月)との
三人暮らし
お仕事 医薬品の製造
勤務 平日 8時半～17時
育児期間 2日(生後8か月)



育児はパートナーと一緒に向き合うかけがえのない時間です。そんなひとときを大切に過ごするためのヒケツとは？今回、金ヶ崎町にある会社シオノギファーマ(株)の社員の方にインタビューを行いました。育児休暇を取得されたというお二人。休暇中のエピソードや育児に対する思いを話していただきました。

わたしの育児

それはあなたも、あなたの大切な人にもあるものです。

お互いが自分らしくいられるように必要なことってなんでしょう？

ゆっくり考えてみませんか？



金ヶ崎町男女共同参画リーフレット

■金ヶ崎町男女共同参画啓発誌「My colors」
■取材協力
株式会社デンソー岩手
シオノギファーマ株式会社
■発行元
金ヶ崎町中央生涯教育センター
〒029-4503
金ヶ崎町西根南羽沢 55
☎0197-44-3123
■印刷
有限会社 金ヶ崎印刷

駿河さんの育児

妻の大変さを実感



Q 育児をどう思うか？

A 職場の同僚と「そういえば育児中だね」と話をしたこと
がきっかけで、とっぴやうと思えました。妻はすごく喜んで
くれました。

Q 育児をどう思うか？

A 仕事で同僚や上司に迷惑をかけてしまうことが不安でした。
ですが、事前に育児をどうしたいと上司に伝えていたので、職場が
仕事の調整してくれました。とりやすい環境でした。

Q 育児中はどう過ごしていましたか？

A 妻にどこか出かけていよと話して、二日間のうち一日は
僕と子どもの二人で過ごしました。離乳食や授乳、寝かしつけ
をして、その間に家事や洗濯をしていました。授乳は、冷凍し
ておいた母乳を解凍してあげました。

Q 育児をどう思うか？

A 育児は想像以上に大変で、することが多く、子どもから目が離
せないことが分りました。妻の大変さを美感できたことが、
親身に話を聞くことにつながっています。
妻には、一日リフレッシュできてよかったですごく感謝してもら
えました。
今でも、私が子守をして妻に出かけてもらうということを継続
しています。

野坂さんの育児

一生に一度を夫婦一緒に



Q 育児をどう思うか？

A もともと、新生児期と一緒に育児をしたいと夫婦で話していた
ので、じやあさうかという軽い感じでした。

Q 育児をどう思うか？

A 特にありませんでした。ただ、仕事の調整は思っているよりも
大変でした。4月に転勤してきたばかりで、自分がいなくて困
ることはあまりない思っていたのですが、上司から「この会
社には野坂君が必要です」とメールが来ました(笑)

Q 育児中はどう過ごしていましたか？

A 身近に育児の手助けをしてくれる人がいなかったため、奥さん
の実家がある九州で里帰り出産をしました。朝から晩まで授乳
やお風呂、寝かしつけなどを分担して行い、来たる岩手での生
活に備えて育児の練習をしていました。ご飯は奥さんのお母さ
んが作ってくれて、すごく助かりました。



育児中にはいろいろなメーカーのオムツを買って試したり、SNS
で調べたことを実践して楽しんでいました。
仕事でも育児でも「とりあえずやってみないとわからないという
のが自分の土台になっている」といいます。

Q 育児を終えて、金ヶ崎での新生活はいかがですか？

A 最近はずいぶん楽になりました。奥さんが映画鑑賞やテレビが好きなので、子どもが寝てから一緒
に見て、二人で笑っています。仕事では新しいことにチャレンジ
しながら、ワークライフバランスをしっかりとれています。

Q 育児をどう思うか？

A 本当にとっぴやうだったんです。28日間しかない新生児期を奥さ
んと二人で育児できたのは後にも先にもない経験でした。

Q 育児をどう思うか？

A 育児をどう思うか？

育児をとることにデメリットを感じない世
中になってほしいです。みんなが声をあげて
いくことでなんとかなっていくと思います。
経済的支援もあるので、お金の面でも経験と
いう面でも、せひとっぴやうと思えます。

「男性だから」「女性だから」というだけで、

自分の好きなことや、やりたいことができなくなったらどう思いますか？

わたしたちは一人ひとりがそれぞれ「らしさ」を持っています。

じぶんらしさ 相手らしさ ~働きやすい環境づくりのために~

改善提案制度に取り組む 株式会社デンソー岩手

1日の中で1/3を占める、職場で過ごす時間。
働きやすい環境で仕事ができたら、毎日が楽しくなるかも。
職場でのちょっとしたやりやすさを実現した取り組みを紹介します。
みなさんの日常にもちょっとしたやりやすさを見つけて
いつもの毎日に変化をもたらしませんか。
デンソー岩手では、働きやすい環境づくりのための施策の一つとして、
改善提案制度に取り組んでいます。

作業をする人、それをサポートする人 それぞれが大切にしていることを聞いてみました。

改善案実施までの流れ



多様なアイデアが
提案ボードに集まっていきました

社員が提案書にアイデアの概要を記入します。提案書は掲示し、良いアイデアには皆で「いいね!!」マークを付けます。それをもとに、改善を検討するチーム=改善隊は毎朝、全員で問題や改善案などを共有し、改善に向け取り組んでいきます。

改善を提案した人から

毎日の仕事にやりやすさを求めて改善を提案しました。提案をしてすぐに改善してくれたので次はどんなところを改善しようかと、よりよい職場になるよう考えています。



センサ製造部製造1課
高橋 瞳さん
たかはし ひとみ

誰でもストレスフリーで
仕事ができる。
こんな職場環境が
理想ですね

作業をする人 ~やりやすさを提案する人~

Case 1 センサ製造部製造1課

電源を1つにまとめて働きやすく！
省エネもできちゃいました!!

すぐに対応して
もらいました



センサ製造部製造1課
伊藤 百香さん
いとう ももか

改善前は席を離れるときは4か所の電源を切っていました。改善後は1か所でオフにできるようになりました。きっかけは、4つの電源を切ってから席を離れることがやりづらかった私もみんなも感じていると思ったことです。

Case 2 生産管理2課

からくり清掃機を作製！
みんなのアイデアで負担軽減&作業効率UP!!

作業が楽になったし
動力を使わないから
省エネ効果大!



生産管理2課
多田 菜月さん
ただ なつみ

毎日、空き箱の異物（ゴミ等）を手で叩いて除去する作業を繰り返していたのですが、手首も疲れるため、人の手に頼らない清掃方法がないかと考えました。



生産管理部で意見を出し合って、ペダルを踏みこむだけでバネが動いて異物を落とすからくりを作製しました。作業を行いながら、改良を重ねて今の形になりました。

サポートする人~やりやすさを実現する人~

サポートする側のお二人は 何を大事にしていますか？

改善できるような努力を示すことです。案を出してもしょうがないと社員に思われてしまうとアウトなので、出来ることは最善を尽くします。



センサ製造部
佐藤 康夫さん
さとう やすお

作業者が改善したいということをサポートする立場の者が気付きを逃さず実現します。実現すれば提案者も次の提案がしやすくなります。そこは特に意識しているところです。とてもやりがいのある仕事です。



生産管理2課
千田 純一さん
ちだ じゅんいち

雑談の中から改善案が
でたりします。
男女も関係なく話し合っ
て、上司も話を聞いてくれます!

働きやすい環境づくりに 必要だと思うことは なんですか？

性別、年齢、身長差などの区別なく、みんなが同じように仕事ができるユニバーサルの環境づくりをまず一番に目指しましょうと目標を掲げています。



一番は作業する人の意見をしっかり聞くことです。ちょっとしたことで気づきや悩みを打ち明けられる職場、仕事でもプライベートでも悩みを打ち明けやすい環境づくりが一番だと思います。また、自分たちの力で働きやすい環境づくりをしていこうという風土が根付いてくると思います。あとはそれを継続させていくことです。



コラム お互いが自分らしくいられるように

ここまで職場と家庭からの声を紹介しました。それぞれの居場所で自分らしさを受け入れてくれる人たちがいるのは素敵なことではありませんか？
このように、性別や価値観にとらわれず自分らしく生きられる社会を「男女共同参画社会」といいます。
では、男女共同参画社会を実現するために私たちに必要なことはなんでしょう？
岩手大学名誉教授 新妻二男先生に聞きました。

男は仕事、女は仕事も家庭も？

男女共同参画社会の実現に向けては、法律や条例等の制度はある程度整ってはきましたが、国際的にはまだまだ立ち遅れているのが現状です。例えば、2021年3月末に公表された世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数ランキングでは、調査対象156カ国中日本は120位です。

順位	国名	値	前年からの順位変動
1位	アイスランド	0.892	-
2位	フィンランド	0.861	1
3位	ノルウェー	0.849	-1
...			
※ 省略			
120位	日本	0.656	1

ジェンダーギャップ指数は主に公的な場における男女間の不平等を表す数値ですが、それを裏側で支えているのが私的な場（特に家庭）での男女の役割分担意識の強さと、女性への依存です。一日当たりの「無償労働」（収入に結びつかない労働で、主に家事・育児・介護等）時間の国際比較を見ると、日本の男性と女性の無償労働時間の落差は極めつきです。極論すれば、「男は仕事、女は家庭」ところか、今では「男は仕事、女は仕事も家庭も」の様相を呈しているかのようです。

日常の当たり前に疑問を持って

確かに意識の面では、「男は仕事、女は家庭」を支持する比率は下がってきていますが、現実の生活場面では「現状を変えたくない」、「現状に安住したい」と思う人もいます。その方が考えなくていいし、楽でもあるからです。特に男性に多いのですが、女性にもあります。

これを変えていくためには、多くの人が日常生活で当たり前と思っていることに、「変だと気づくことや疑問をもつ」ことが大事です。要は、私的な場を構成するメンバーが当事者（生活の担い手）意識を持って、互いを尊重（リスペクト）し、お互いの意見の一致を図りながら生活をつくることではないかと思います。

現代は個人の生き方も家族・家庭の在り方も多様性に溢れており、多様性を認めなければならない時代なのです。家族・家庭は「斯くあるべき」や男性・女性の「~らしさ」に呪縛されることなく、自分（自分たち）が納得できる家族・家庭づくりを目指して頂ければと思います。



岩手大学名誉教授 新妻 二男 先生
にいづま つぐお

●取材を終えて

育休の体験談を聞いたり、工場を見学したり、初めて知ることばかりの楽しく刺激的な取材でした。いろいろな暮らしや働き方があるのだなあと、自分のことでいっぱいになったとき、それはちょっとだけ気持ちよくしてくれるような気がします。

また、今回の取材と並行して、「いわて男女共同参画サポーター養成講座」を受講しました。この講座では、男女共同参画の考え方や取組、現状を知り、視野を広げる機会になりました。私自身、他者よりも自分に対して「こうあるべき」という考えにとらわれていたことに気づきました。

最近、我が家の冷凍庫に冷凍餃子を常備するようになりました。買い出しも料理もしたくない日はこれ。冷凍餃子がこんなにも安心感を与えてくれるとは思いませんでした。「こうあるべき」ととらわれず、まずは自分がラクしていい気分になれる選択肢を増やしていけたらいいと思います。最後になりましたが、取材に応じて頂いた皆様にあらためてお礼を申し上げます。

金ヶ崎町中央生涯教育センター
地域づくり支援員 金城 有良
かねしろ ゆら

